



1 【 学年職員のやり方を認めながら代替案の提供 】

適していると思われる方法を取り入れてほしい。

より効果的な取組や指導となるように、自分の経験から最善と思われる指導方法・指導内容を提供している。

様々な指導方法があることを学んでほしい。

1つの目的や目標において、複数の方法や手段を提供している。

職員の意欲を失わせないようにしたい。

自分の失敗談を交えながら、指導上の配慮事項等にさりげなく触れている。

↑ ↑ ↑

学年職員のやり方を認めながら代替案も提供している。

2 【 学年職員の個性が活かせるような雰囲気づくりや言葉掛け 】

一人一人の職員
のよさを生かして
指導してほしい。

「 について教えてください。」「この前の取組良かったわね。」と言って、やり方を教えてもらっている。

プレッシャーを感じ
すぎず、伸び伸び
指導してほしい。

「私もそうだったのよ。」「焦らなくていいよ。」「慣れればどうってことないよ。」等、声を掛けている。

一人一人の職員が
組織の一員として大
事な存在であることを
伝えたい。

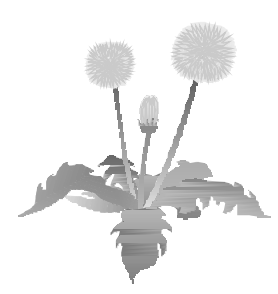
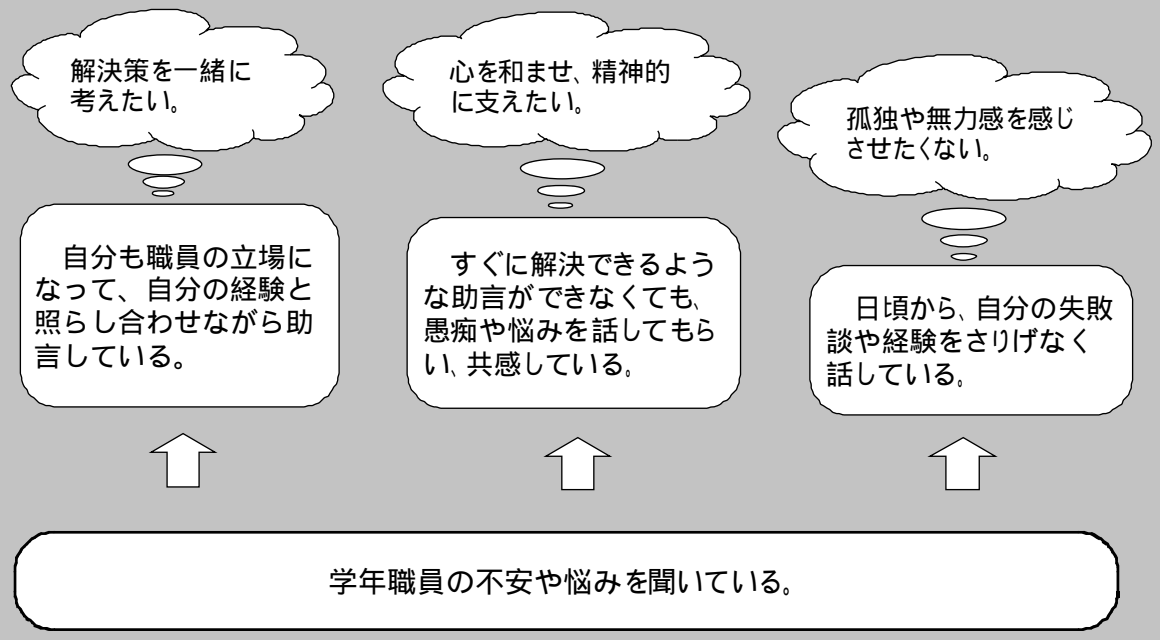
身体の調子を心配したり、アドバイスの声を掛けたりしている。

↑ ↑ ↑

学年職員の個性や取組を認め、安心できる雰囲気や言葉掛けをしている。



3 [学年職員の不安や悩みの受け入れ]



教頭

教務主任

学年主任

研修主任